

最小の経費で最大の効果を！

選択と集中、創意工夫による行政経営



吉田市長

行政経営に関する

基本的な考え方

昨年は、合併により新「本庄市」が誕生し、激動の中にも将来のまちづくりへの大きな一歩を踏み出した年でした。

現在、地方自治体は自己決定・自己責任が強く問われる時代となっています。私は、本市を取り巻く厳しい状況を踏まえ、行政課題の解決のため、そして「温かく、活力と希望あふれる本庄市」を創るため、まい進する覚悟です。

これまで、厳しい財政状況の下、行政改革の積極的な推進」と「選択と集中」による効率的な行政経営を推し進めてまいりました。これからは、「何をなすか」「何をなさぬか」

吉田信解本庄市長は、2月28日に開会した平成19年本庄市議会第1回定例会において、平成19年度の行政経営の基本的な考え方と主な施策を説明しました。行政課題の解決を図るため、「何をなすか」「何をなさぬか」の「選択と集中」そして、「如何になすか」という「創意工夫」の観点をもって事業に取り組んでいく重要性を述べました。（以下要旨）

の「選択と集中」に加え、これまで以上にコスト意識を持ち、どのようにしたら最小の経費で最大の効果を上げられるか、市民生活の向上につながるかを工夫する「如何になすか」という「創意工夫」の観点を持って、一つ一つの事業に取り組むことが重要であると考えます。

産業振興への取り組みや福祉政策の維持充実など、市の課題は多くありますが、本年度は、「教育の改革と再生」、「安全・安心・快適なまちづくり」、「本庄早稲田駅周辺土地整理事業の推進」の3つを重点施策と位置づけ、行政経営とまちづくりに全力で取り組んでまいります。

さて、国の「予算編成の前提となる経済情勢及び財政事情」によると、経済の着実な回復が続くなか、企業

部門・家計部門ともに改善が続き、持続的な経済成長が実現すると見込まれています。しかしながら、その改善の程度は地域間での隔差があり、従来のように全ての地方公共団体の財政状況が同じように好転することは難しくなっています。また、いわゆる「三位一体の改革」等により、行政改革を推進し、効率的な財政へと転換することが求められています。

平成19年度の予算編成は、こうした現状を踏まえ、財政の健全性の確保に留意し、先に述べた3つの施策に重点を置き編成しました。その規模は、一般・特別企業会計あわせて470億4,361万円となります。以下、新市建設計画の基本目標の体系に沿って、主な施策についてご説明します。

主な施策の説明

子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるまちづくり

誰もが生涯を通じて確かな生きがいをもって安心して生活が送れるよう、保健、医療、福祉の充実に努めます。

まず、子育て支援については、藤田小学校の余裕教室を改修して、藤田公民館で試行していた学童保育室を本格実施するほか、寿学童保育室の運営を開始し、放課後児童の健全育成を図ります。また、ファミリーサポート運営事業「や子育て情報の交換・相談の場としての「つどいの広場」など、子育て支援の充実を図っていきます。

健康づくり事業については、生活習慣病予防対策のための各種講座





相談等を実施するとともに、健康診査の受診率の向上と受診しやすい環境を整えていきます。

救急医療体制については、休日急患診療所の開設時間の拡充、在宅当番医制、年末年始休日歯科診療業務、病院群輪番制病院、熊谷・深谷・児玉地区小児二次救急診療事業などの充実に努めるとともに、「老人保健制度」が「後期高齢者医療制度」に平成20年4月から移行するための電算システムの開発等を行っていきます。

高齢者福祉については、新たに児玉地域に委託による地域包括支援センターを設置するなど、高齢者が安心して暮らせる体制づくりを図るほか、老人クラブ助成事業、高齢者敬老事業などを実施していきます。

障害者福祉については、本年3月に策定する「障害者計画」・「障害福祉計画」に基づき、障害のある人も、障害のない人も、ともに生きるまちづくりを進めていくほか、障害者相談支援事業など、

きめ細かい対応を実施していきます。

また、男女共同参画社会確立のため、「本庄市男女共同参画プラン」の策定作業を2か年で進めます。

人にやさしい、環境と調和したふるさとづくり

恵まれた自然環境などの貴重な資源を保全しながら、環境と調和したまちづくりを進め、市民の暮らしを守る事業を展開していきます。

まず、上水道事業については、配水管の布設・浄水場の施設改良・管路の布設替えを計画的に実施し、安全で低廉な水の供給に努めるほか、水道事業により違いのあった水道加入金を統一金額とします。

下水道事業は、事業認可区域内の汚水・雨水枝線築造工事を継続して実施し、農業集落排水事業は、「滝瀬・堀田地区」の管路施設工事および処理施設の下部工事を行います。

公園緑地の整備については、安全で快適な公園緑地の整備と住環境の充実に努めるため、児玉町児玉の清水の池整備工事や指定管理者制度による良好な公園の維持管理に努めます。また、総合公園用地など土地開発公社からの買い戻しを計画的に進めます。

環境負荷の軽減については、「環境と調和したまち」の建設に向けて、清流ルネッサンス元小山川浄化事業などの水環境改善や環境負荷の低減に積極的に取り組み、豊かな自然環境を維持していきます。

防災対策については、災害時の市民への正確で迅速な情報伝達手段と

して、防災行政無線のデジタル化による親同僚整備と、児玉地域の子局設備工事を行います。

最重要課題である「安全・安心・快適なまちづくり」については、防犯活動

団体に対する支援や市民等を対象とした研修会の開催により活動の活性化を図るとともに、市民・団体・事業所等と連携し、防犯・交通安全推進事業に積極的に取り組んでいきます。



地域を担い、明日を拓く人づくり

平成19年度を「教育の改革・再生元年」と位置づけ、子育て支援も含めた教育改革・教育再生に、長期的な視点で、そして最重要課題として取り組んでいきます。

学校教育の充実については、教育を支援したいという方々の意志を生かすため「教育振興基金」を新たに設けます。市内4中学校への「さわやか相談員」の配置、児童生徒や保護者からの電話相談に応じる「子ども心の相談員」の配置、「ふれあいボランティア」の増員により、児童生徒の心のケアの充実を図ります。また、中学校へティーチング・アド

バイザーを配置し、学校運営の支援を図るとともに、学校・家庭・地域が連携できる体制の整備を進めます。

学校の施設整備では、本庄南小学校北校舎の耐震補強工事と児玉小学校の耐震2次診断および耐震補強工事実施設計のほか、児玉中学校の建て替えのため、体育館建設工事と関連工事を行うとともに、校舎棟建設実施設計および旧校舎・旧体育館の解体設計を実施していきます。また、本庄上里学校給食センターの建設工事を実施します。

生涯学習の推進については、「生涯学習推進計画」を策定するとともに、多様化・専門化する生涯学習の要望に応え、生涯学習推進大会や各種生涯学習講座、専門講座を開催していきます。また、「子どもボランティア体験スクール」や「子育て講座」の開催など、地域・家庭における教育支援施策の充実を図っていきます。

スポーツ活動の推進については、市内のスポーツ施設の有効利用を一層促進するとともに、スポーツ・レクリエーション団体への支援や各種スポーツ大会・教室などを実施します。また、平成20年に開催予定の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）女子バスケットボール大会の開催に向けて体制を整備するとともに、開催記念バスケットボール大会を開催するなど、大会への気運を盛り上げていきます。